

2020年5月27日

【注意喚起】フィッシングメールによる不正アクセスについて



学生・教職員のみなさま

本学の職員を装い、学生のみなさんへ全学統合認証パスワードや SNS のパスワードを聞き出すメールが出回っています。

大学から、個人の全学統合認証パスワードや SNS のパスワードをお聞きすることはありません。
また、友人・知人から聞かれた際にも、絶対に教えてはいけません。

全学統合認証や SNS など、同じパスワードを使いまわしているような場合は、すぐに別のパスワードに変更してください。万が一、パスワードが盗用された場合、同時に被害にあう可能性が高くなります。

標的型攻撃・フィッシング（詐欺）メールの被害も報告されていますので、不審なメールや連絡があった際には、以下の点にご注意ください。

-【確認のポイント】-----

■パスワードについて

- ・パスワードは、絶対に他人に教えてはいけません。
- ・大学からパスワードをお聞きすることはありません。
- ・同じパスワードを使いまわすことは避けてください。
- ・不審に感じたら直ちにパスワードを変更してください。

■不審なメールが届いたとき

- ・件名や内容が不自然なメールは開封しないでください。

【例】・大学や関係者からのメールなのに、送信元のメールアドレスがおかしい。

- ・覚えのない資料が添付されている。
- ・日本語の表現がおかしい。
- ・漢字の表記に違和感(繁体字や簡体字)がある。
- ・知らない差出人や企業からのメールである。
- ・あからさまに添付ファイルを開かせようしたり、URL へアクセスさせようとする内容である。
- ・タイトルに【大事なお知らせ】【緊急】【重要】などのキーワードが誇張されている。

- ・不審なメールは削除する。
- ・メーリングリスト宛の場合は、他の受信者へも連絡(電話)し、適切な連絡か確認してください。
- ・送信者に対して当該メールの送信事実があるか確認(電話)してください。

■不審なメールを開いたとき

- ・添付ファイルは絶対に開封しないでください。
- ・メールの本文に書かれた URL をクリックしないでください。
- ・不審なメールに返信しないでください。

標的型攻撃・フィッシング(詐欺)メールの添付ファイルを開いてしまった場合や、メール本文に記載されたリンクをクリックした場合は、直ぐに情報メディアセンターへご連絡いただきますようお願いいたします。

情報メディアセンター rtnoc@ad.ryukoku.ac.jp